

2024 年 1 月 28 日

豊橋市サッカー協会 理事長 篠田 好隆 様
豊川サッカー協会 理事長 孫 勇一 様
蒲郡市サッカー協会 理事長 近藤 大二郎 様
田原市サッカー協会 理事長 彦坂 高司 様

公益財団法人 愛知県サッカー協会
東三河地区協会 会長 木村 豊

各市協会からのご要望への対応について（ご回答）

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、豊橋市サッカー協会、豊川サッカー協会、蒲郡市サッカー協会および田原市サッカー協会（以下より市協会という。）より、（公財）愛知県サッカー協会 東三河地区協会（以下より東三河協会という。）に対するご意見をいただき誠にありがとうございます。

2023 年 7 月 20 日付け、各市協会連名にていただきました要望書の内容を精査させていただき、東三河協会内および愛知県サッカー協会本部とも協議した結果をご報告申し上げます。各市協会のご要望に対応すべく内容を協議し、また次年度事業への具体的な反映を含め検討を致しており、ご回答が遅くなりましたことを心よりお詫び申し上げます。

ご回答については下記の通りとなります。

1. 旅費交通費の件

【ご要望の概要】

- ① 旅費交通費規程の策定（実費精算の規程も含む）
- ② 旅費交通費の統一（役職での費用の差の廃止および種別ごとの予算確保の統一）
- ③ 旅費交通費の増額の検討

【ご回答】

- ① 旅費交通費規定は、東三河協会の収支予算計画に基づき、愛知県サッカー協会旅費規程（平成 24 年 4 月 1 日施行）に定められた上限内金額を適用しております。
同規程では「役員・委員 上限 3,000 円」（※令和 5 年 7 月 27 日通達により片道 60Km 以上は上限 4,000 円）となっておりますが、東三河協会では事業単位の収支計画に基づき 1,000 円～3,000 円の範囲で交通費を支給をしております。
現在、愛知県サッカー協会でも旅費規定の見直しを進めており、前記の通達は 2024 年度末までの適用であり、2024 年度中には旅費規程が改訂される予定です。

また、交通費実費精算につきましては、同規定のとおり出張時「県外もしくは宿泊を伴う場合」に適用しております。

- ② 技術委員会トレセン活動でのスタッフ役職（チーフコーチまたはサポートコーチ）による交通費の差に対するご意見と理解致します。トレセン活動においては、各カテゴリーにチーフコーチ（原則２名）とサポートコーチ（若干名）に区分されます。固定的に活動し、責務を持ったチーフコーチと、研修目的を含め参加をお願いするサポートコーチは区分しております。ご理解を宜しくお願い致します。
- ③ 2024 年度収支予算計画（案）における交通費は、現状から 1,000 円から 2,000 円または 3,000 円に増額した予算計上をしております。（収支を見て事業単位に決定）今後、東三河協会全種別、全事業において愛知県サッカー協会旅費規程の 3,000 円を予算計上できるよう、登録費・参加費の見直しを進めてまいります。

2. フットボールセンターの件

【ご要望の概要】

- ① 東三河地区のフットボールセンター設置の可能性、予定および展望について
- ② フットボールセンター整備基金の収支および整備状況（東三河地区の予定）に関する情報公開を要望
- ③ 土地確保のための情報開示

【ご回答】

- ① 愛知県内フットボールセンターの整備は、県内 6 地区それぞれに整備することを目指し、2018 年にはテラスポ鶴舞（名古屋地区）、2022 年には松屋地所フレッチ・フィールド（知多地区）が完成し、2024 年度フットボールセンター愛西（仮称）（西尾張地区）に竣工することが決定しています。フットボールセンター設立事業開始当初より、東三河地区内への設置の可能性を模索しており、現在も継続しております。

- ② フットボールセンター整備基金は、2020 年から 5 年計画で、選手登録者一人当たり年 500 円を納付いただき施設の設置、整備に充てています。2024 年度までの 5 年間の整備基金収入は約 98,000 千円（2024 年度分は見込み）、支出は 73,000 千円となります。収支差額 25,000 千円は、テラスポ鶴舞を除く 2 施設の更衣室やトイレなどの整備に使用することが予定されています。

2025 年度以降のフットボールセンター整備基金の継続につきましては、「引き続きお願いする」ことを案として、現在のフットボールセンターの整備および次のフットボールセンター建設に向けた準備を進めまいります。

（参考） 建設、整備費用の概要

i. テラスポ鶴舞

・日本サッカー協会からの交付金等および寄附

ii. 松屋地所フレッチ・フィールド

- ・日本サッカー協会からの交付金等
- ・フットボールセンター整備基金
- ・寄附

iii. フットボールセンター愛西

- ・日本サッカー協会からの交付金等
- ・フットボールセンター整備基金
- ・寄附

なお、フットボールセンター基金の収支は下記の通りとなります。(概算)

収 入		支 出	
2020 年度	25,000 千円	松屋地所フレッチ・フィールド整備	43,000 千円
2021 年度	17,000 千円		
2022 年度	20,000 千円	フットボールセンター愛西整備	30,000 千円
2023 年度	18,000 千円		
合 計	80,000 千円	合 計	73,000 千円

- ③ 次期フットボールセンターの建設の候補地は現在ございません。東三河地区においては、蒲郡市大塚臨海地区（海陽多目的グラウンド近隣）、豊橋市総合スポーツ公園内など、東三河独自で関係官庁との情報交換をしている段階となります。

3. 功労者表彰の件

【ご要望の概要】

- ① 退任された市協会理事長への表彰について
- ② 大会成績以外にも素晴らしい活動をしたチームや関係者への表彰について

【ご回答】

東三河協会表彰規程第 33 条 66 項の 22 を活用し、表彰要件以外にも協会の発展に貢献していただいた皆様を幅広く推薦していただければ幸いです。各種別委員会、各市協会にも表彰規程を周知し、候補者の推薦を促し、理事会で審議してまいります。

4. 協力金の件

【ご要望の概要】

2024 年度以降の市協会からの「協力金」の廃止について

【ご回答】

各市協会からの協力金は、「全国選抜少年サッカー大会」「東三河サッカー選手権」「トレセン活動」「指導者育成活動」「審判育成活動」「協会（理事会）運営」に活用してまいりました。近年、協会スポンサーの充実およびサッカー関連事業の運営協力（大会運営、スタッフ派遣）による財源確保が進み、2024年度の収支予算計画（案）において、各市協会からの協力金を計上しておりません。従いまして、長年にわたるご協力に感謝申しあげ、2023年度をもちまして各市協会からの協力金を廃止致します。

5. 東三河サッカー選手権（物語コーポレーションカップ）の大会運営費の件

【ご要望の概要】

2024年度以降、大会運営委託費として各市協会負担による事業実施について

【ご回答】

東三河サッカー選手権は、従来の各市協会代表チームによる「東三河社会人サッカー選手権」として東三河協会設立時から40年以上続く大会として継続してまいりました。2013年度より物語コーポレーション様の冠を付けた大会として、出場チームを東三河社会人、県社会人、2種に拡大し、東三河サッカーの頂点を定めるべく大会としました。その後、女子、シニアのカテゴリーを加え、予算規模も拡大し、従来の市協会からの協力金を元にした事業から協賛企業の支援を含めた運営となっております。

2024年度大会（2025年2月から3月開催）より、従来の「東三河社会人サッカー選手権」に戻し、各市協会および東三河協会の実行委員会による自主運営をすることを案とし、準備を進めてまいります。

以上の通り、ご回答させていただきます。不確定な面も多々ございますが、東三河協会の活動に係わるすべての皆さまのサッカーに対する熱い思いを共有し、東三河サッカーの発展につながるよう努力してまいります。今後も忌憚のないご意見を賜りますよう、引き続きよろしくお願い申し上げます。

以上